

## 湯浅蓄電池(順徳)有限公司のご紹介

湯浅蓄電池(順徳)有限公司  
営業部 湯浅栄人

### 1. はじめに

湯浅蓄電池(順徳)有限公司は広東省佛山市順徳区に所在し、同区は広州市から車で1時間程の南に位置する。経済開放政策のモデルとなった広東省の中で、順徳は早い時期より香港からの投資が大きかったことから、経済発展を謳歌する地域の一つとなった。自動車の個人所有率が中国全国でもトップクラスに挙げられる。

中国四大料理の一つ、広東料理の中でも順徳は最も伝統的な地域として知られている。順徳を訪れる殆どの日本人は、食事がおいしいと言って帰国する。住んでいる者も同感する。

順徳は、ユアサグループにとって二つの大型投資を行っている場所である。一つ目の投資は、1996年に合弁事業として設立され、現在は(株)ユアサコーポレーションの100%子会社となった広東湯浅蓄電池有限公司である。産業用鉛蓄電池製造・販売会社としてユアサグループには必要不可欠な連結会社である。今回二つ目の投資として湯浅蓄電池(順徳)有限公司を設立した。同社設立には、広東湯浅蓄電池有限公司の機能を活用したので、タイトな日程にもかかわらず、計画通りに立ち上げることができた。中国の国情を考えるとこれは稀な事である。全くのグリーンフィールドからの立ち上げでは、こうも早く工場が完成し、量産を開始することはできなかったことであろう。

### 2. 会社概要

**背景** 日本の補修用電池市場の価格下落には歯止めがかからず、日本における利益を確保するために、原価低減を求め中国生産拠点を創立する決定に至った。

**目的・目標** 100%輸出企業として設立。世界最高水準の性能を誇る電池の製造を目指す。同時にアジアNo.1グループ企業を目標に、中国国内への販売も開始する。アジアにおいて中国事業を日本以外の中核拠点として拡大させる。

**設立** 2002年2月  
**資本金** US\$1,000万  
**株主** (株)ユアサコーポレーション 100%  
**代表者** 椎名耕一  
**敷地面積** 11万m<sup>2</sup>  
**建物面積** 2万m<sup>2</sup>  
(含事務棟)  
**事業内容** 自動車用蓄電池製造・販売  
**所在地** 中国広東省佛山市順徳区  
**従業員数** 143名  
(2003年7月末現在)

### 3. 生産

2002年6月より工場建設を開始、2003年4月から量産を始めた。前述した通り、このスピードは中国においては特筆に値すると自負するところである。2003年度の生産能力は三直稼動で年間100万個、組立ラインは一本。自動車用蓄電池の一部機種に限定し、一直で生産を開始した。8月より二直体制へ移行し、2003年度中に三直体制を実現する。

### 4. 販売

前述した通り、輸出100%の企業として設立されたので、2003年6月現在では生産した製品の100%を日本へ輸出する。中国国内販売の実現を目指し免許の書



湯浅蓄電池(順徳)有限公司 全景



開業式式典



記念植樹

き換え申請を行っており、今夏から中国国内販売を開始する。2003年度の総販売量の5%は広東省広州市所在の東風本田発動機有限公司殿向けとなる。

## 5. 中国自動車産業の動向

ここ数年の中国の経済発展は目覚しく、一年の間に大きく様変わりがするほど。自動車産業の発展は目まぐるしく、特に乗用車について2002年度、2003年度は飛躍的な伸長率となっている。2003年度は、1～3月の自動車累計生産台数が102万台で前年同期比の155%となった。この期間の乗用車生産台数は40万台で、前年同期比227%となっている。

### 中国の自動車生産台数

単位:1万台

	2001年度生産台数	前年比	2002年度生産台数	前年比
自動車全般	233	112.8%	325	139.2%
内乗用車	70	116.4%	109	154.8%

## 6. 今後の展開

アジアNo.1を目指すユアサグループは、湯浅蓄電池(順徳)有限公司を日本以外の中核拠点として育てる。そして中国国内販売はアジアNo.1になるために重要な鍵

を握る。当初の日本補修用市場への輸出供給と同時に、上記の中国自動車産業の発展に伴い中国自動車メーカーへの提案活動、補修市場への参入を目指すべく機種を拡大する。中国では中国ブランドだけでなく、日本、欧州、米国のブランドがひしめいている。充実した品揃えが無いと中国国内市場参入は困難だ。具体的な機種展開については戦略を構築中である。もちろん、今後新たに生産を始める機種は当初の目的である日本への輸出も行う。

同時に、二輪車用の電池生産も行う。二輪車用電池も主に日本向けとなるが、中国国内の二輪車用電池の需要への対応、日本以外への輸出も含めて、2004年度に生産を開始する。中国は二輪車の保有台数・生産台数(年間1千万台以上)において、他国の追随を許さない大きな市場であり、当社の二輪車用電池の強みを最も活かせる市場の一つと言える。

2006年度までに、四輪車用電池250万個、二輪車用電池400万個を目指す。

本中国プロジェクトを簡潔に形容すると、「湯浅蓄電池(順徳)有限公司を成功させることなく、ユアサグループの発展は成し得ない」と言える。